

## ○ 大隅 俊平 について



大隅俊平（本名：貞夫ただお）刀匠は、昭和7年太田市に生まれ、昭和27年に長野県坂城町の宮入昭平刀匠（昭和38年に人間国宝となる・晩年、行平と改名）に師事し、作刀技術を学びました。昭和33年太田市に戻って独立し、その後「新作名刀展」において最高位の正宗賞を3度受賞、昭和63年には太田市名誉市民に推挙され、平成9年には、重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定されるなど、作刀一筋の道を歩みました。

作風は「直刃（すぐは）の大隅」と賞賛され、平成21年に逝去するまで、直刃一筋に邁進しました。

「大隅俊平美術館」は、刀匠の作品を常設展示する施設として、平成24年11月に開館いたしました。一点のゆるみもない直刃一筋に生きた刀匠の作品をご覧ください。

### ■ 経 歴

- 昭和7年 新田郡沢野村富沢（現・太田市富沢町）に生まれる
- 昭和27年 長野県坂城町の刀匠宮入昭平（のち人間国宝）に師事
- 昭和33年 作刀技術発表会初出品（優秀賞受賞）
- 昭和35年 太田市に戻り独立制作を始める
- 昭和40年 第1回新作名刀展出品（以後平成21年まで連続出品）
- 昭和42年 新作名刀展特賞受賞（以降6年連続受賞）
- 昭和46年 伊勢神宮へ御神刀太刀（直刀）三口献納
- 昭和47年 新作名刀展無鑑査となる（以後無鑑査出品）
- 昭和49年 第10回新作名刀展にて正宗賞受賞
- 昭和51年 第12回新作名刀展にて正宗賞受賞
- 昭和52年 群馬県指定重要無形文化財保持者に認定される
- 昭和53年 第14回新作名刀展出品にて正宗賞受賞

昭和 54 年 太田市由良町に転居  
昭和 56 年 高松宮殿下へ御守刀（短刀）献上  
昭和 58 年 高松宮妃殿下へ御守刀（小太刀）献上  
昭和 59 年 伊勢神宮へ御神宝太刀（直刀）二口献納  
昭和 61 年 高松宮殿下へ御守刀（太刀）献上  
昭和 63 年 太田市名誉市民に推挙される  
平成元年 伊勢神宮へ御神宝鉾二口献納  
平成 5 年 群馬県功労者表彰を受ける  
平成 9 年 重要無形文化財保持者（日本刀）に認定される  
平成 11 年 紫綬褒章を受章  
平成 13 年 敬宮愛子内親王御守刀謹作（短刀）  
平成 17 年 旭日中綬章を拝受 伊勢神宮へ四口謹作  
平成 18 年 オマーン国国王陛下 太刀一口、脇差一口御買上  
伊勢神宮御神宝太刀二口謹作  
平成 19 年 高円宮家小太刀一口御買上  
平成 21 年 伊勢神宮御神宝鉾六口謹作  
逝去 享年 77 歳（10 月 4 日）

